



静岡県議会議員
鈴木 啓嗣

穏やかな日差しが心地よい季節。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

昨年五月、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、多くのイベントが再開されるなど、地域にはようやく賑わいが戻ってまいりました。改めて、人とのふれあいが地域の活力につながることを実感しています。

一方、様々な要因で継続しているエネルギーや物価高、資材高騰は、私たちの暮らしに大きな影響をもたらしています。また、少子化・人口減少の課題も厳しい状況が続いており、社会・産業構造や働き方は大きな転換点を迎えています。

このように様々な変化が同時に進む今だからこそ、皆様の声を的確に代弁し、この地域には今何が必要なのか、何をすべきなのかを、積極的に提言していかなければならないと強く感じております。

これからも、安心・安全で活力ある地域の実現に向け、全力を尽くしてまいりますので、ご意見、ご要望等、ぜひ皆様の声をお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、日頃の温かなご支援に心から御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



静岡県議会本会議での質問及び答弁

静岡県ホームページ(<https://shizuoka-pref.stream.jfit.co.jp>)で、質問・答弁を動画でご覧いただけます。

【令和5年9月29日 一般質問 質疑・質問事項】

質問1 ころの病を抱える子どもたちへの支援について

答弁

患者にとって身近な地域でより早く専門的な治療が受けられるよう、浜松医科大学に児童精神科分野の寄附講座を設置し子供の心の病を診療できる医師の養成と県内への定着に取り組んでおります。

質問2 若者の大麻乱用防止について

答弁

SNS等で大麻は害がないといった誤った情報が広まってることから、学生の協力を得て若者の心に訴える啓発動画を作成し、大麻の危険性や有害性を正しく理解させる情報をYouTubeなどで配信しているところであります。今年度は新たにこうした情報を掲載したポスターを作成し、学校やコンビニエンスストアなどを通じて周知することによって大麻問題を抱える若者やその家族を地域社会で孤立させないよう取り組んでまいります。

質問3 激甚化、頻発化する水害からの適切な避難行動の啓発について

答弁

避難の動機づけにつながる正確な情報発信を着実に住民に届けるため、同報無線やテレビ、ラジオ、インターネットに加えまして防災アプリ「静岡県防災」など多様な媒体により避難指示等の具体的な緊急防災情報の発信を行っているところです。県民の皆様の適切な避難行動の促進につなげ、誰もが安心して暮らすことのできる災害に強い地域づくりに努めてまいります。

質問4 食品ロスに係る対策について

答弁

市町と共に事業者、団体などと連携し限りある資源を無駄にすることのないよう食品ロスの削減等に向けたさらなる取組を進めてまいります。

質問5 人工衛星を活用した盛土監視体制の強化について

答弁

デジタル技術の活用により不適切盛土を早期に把握し抑止を図る体制を整備し県民の皆様の安全と安心の確保に努めてまいります。

質問6 浜名湖花博2024における舟運の活用について

答弁

舟運の魅力向上や利用促進を図り多くの来場者の方に舟運を利用していただくことで花博期間中の交通渋滞を緩和するとともに、花博後も浜名湖の貴重な観光資源として継続的に活用されるよう取り組んでまいります。

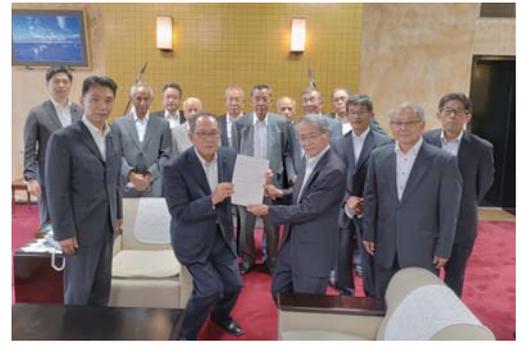


常任委員会・特別委員会



令和5年度は、文化観光委員会に所属し、委員長を務めております。文化観光委員会では、文化や観光の振興などに関する事項を審議しています。また、特別委員会では、子どもの孤立対策特別委員会に所属し、副委員長を務めております。子どもの孤立対策特別委員会では、困難を抱える子ども・若者の支援に関する事項を審議しています。

要望活動



政務調査活動等

厳しい財政状況下でも、やるべきこと事はたくさんあります。地元地域や、関係議員の皆さんと連携し活動してまいります。



各団体・地域イベント活動に参加し意見交換



防災対策現場確認



浜名湖護岸状況確認

視察活動等



松枯れ被害対策について

現在、松枯れは、浜松市から湖西市にかけ、海岸線を中心に被害が拡大しています。地域の財産である松林を次代へと引き継ぐため活動を続けてまいります。

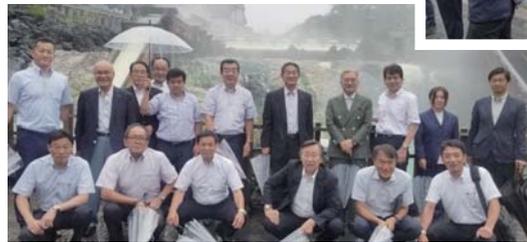


舟運事業について

関係機関と連携しながら、地域一帯で取り組む観光地域づくりに貢献できるよう、必要となる施設整備の事業手法等を検討していきます。

観光産業振興議員連盟視察

日本独特の文化である温泉文化。本県は伊豆から館山寺まで多くの温泉地を有しています。本県としても、温泉文化を継承・発信するために、他県温泉地の取り組みや課題を把握し、温泉文化への理解を深めること、そして、温泉地が一丸となって課題解決に取り組む土壌を育むことが、温泉観光地の振興に繋がるものと考えます。



県政報告会等を実施



県政に関わることで、県民の皆様のご意見等、お聞かせ下さい。

2024(令和6)年1月1日、浜松市の行政区が7区から3区に変わりました!



*三方原地区: 初生町、三方原町、東三方町、豊岡町、三草町、大原町、根洗町